

徳瞬瞥山、ホロホロ山

日 程：平成26年10月19日（日）

参加者：スタッフ12名、会員5名、市民25名

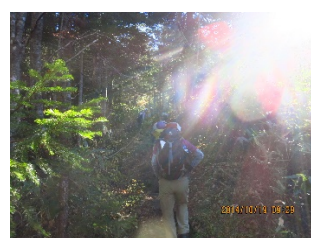
行 程：徳瞬瞥登山口；9時05分、6合目；9時35分、7合目；10時15分、
徳瞬瞥山（1309m）頂上；11時25分、発；12時10分、7合目；13時09分、駐車場；14時12分、登り：2時間20分、下り：2時間12分

大型バスに23人が乗車、岡志別駐車場を7時に出発、室蘭登別より高速利用、伊達道の駅駐車場で13名が乗り込み、バス中で簡単な挨拶、今後のスケジュール、リーダーなどの紹介の後、一路登山口駐車場に向かう。車窓から周囲の紅葉盛りの景色が慰めてくれた。

大滝運動公園にて札幌よりの2名の車の先導で、大滝側駐車場に向かう。満車状態、奥の道路に駐車。ここで遠く北桧山から参加の1名を加え、4名が参加。準備体操後、A班をを先頭に順次登山開始。



今日は雲一つ無い快晴、風も無く、絶好な登山日和、登山口、川沿いの登山道、少し湿り気あり



登山道の両側はとど松などの針葉林が多く、落葉樹はすべて葉を落とし、雪を待つ佇まい、紅葉を期待してただけに、少々ガッカリする。

天候がよく、暖かい為、途中で一枚脱いで温度調整をしながら、快調に登山を続ケル。

ちょっと荒れた沢を渡渉する。



9時35分、810mの6合目に到着、一息入れる。



800m付近から霜柱が解けて、道が少しぬかるむので乾いた处を探し、歩を進める。850mを過ぎると沢筋と別れ、登りが少しきつくなる。

とど松からエゾ松に代わる、樺も増えて来た。檜や柏、栗などの樹木は少なく、キノコ類も見当ら無い、クマさんの気配なし。

980m7合目の旧道分岐で一休み。



岳樺の疎林をジグを切って登る、汗ばむ。



10時40分8合目に到着、11時過ぎに見晴台に到着、頂上まで後600mの表示に元気つけられる。

B班のみなさん、元気一杯、足取りも確かです。木の間越しにチラット頂上が見えた、まだ遠い。

大きく後3～4回じぐを切らないと頂上を踏めない。



1200m付近から上は、降雪があったのか、日蔭に残雪あり、凍結していた。登山道で立ち止まり、眼下の大滝村、羊蹄山の雄姿を眺め、感動する。

11時25分徳瞬瞥山(1309m)の頂上に立つ。先客が10数名寛いでいた。各班毎に記念写真を撮る。



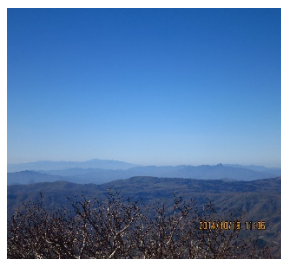
頂上からの眺めは最高、360度遮る物が無い大展望が広がる。

当初の計画ではホロホロまで縦走の予定であったが往復2時間以上も掛かり、下山が16時を上廻る予測の為縦走を断念、この地で昼食を採り、12時過ぎに下山予定、

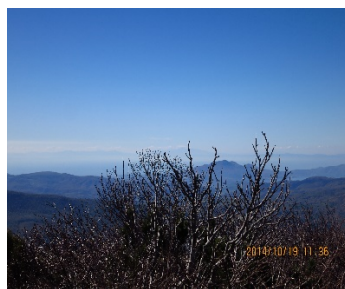
羊蹄山と尻別岳、 昆布岳と積丹半島



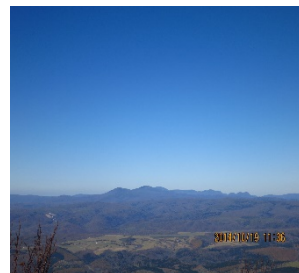
オロフレ山、



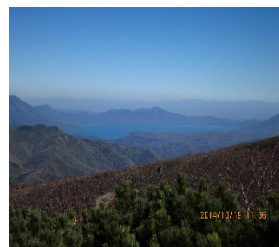
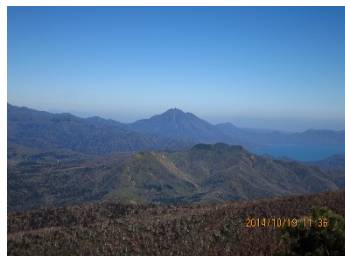
無意根連峰と定山溪天狗



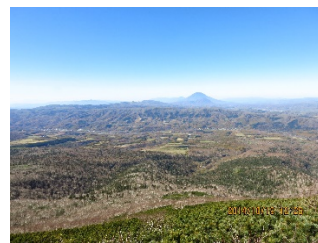
恵庭岳と青い支笏湖、



支笏湖と紋別岳

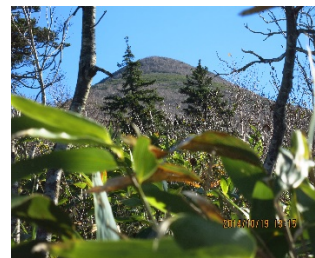


頂上で憩う人、ホロホロ、眼下の広がりと羊蹄山



12時10分、別れを惜しみ、頂上を後にする。残雪箇所はまだ凍結が融けていなく、滑るのでみなさん慎重に下りる。

7合目13時10分に到着、一休みする。徳瞬瞥山を振り返る。



B班が先頭で順調に下山する。

14時12分、駐車場に無事帰着。最後に雄姿をパチリと一枚撮る。

クールダウン体操で身体をほぐし、解散の挨拶後札幌、苫小牧組・北桧山からの方々と別れ、壮瞥のゆーあいの湯に入浴後、伊達に16時30分頃、岡志別で17時10分頃解散、帰途に就く。

一人の怪我もなく、快晴に恵まれ、成功裡に終わった。企画、お手伝い、サポートして下さった会員の皆さんに感謝します。

記 近藤